

「左京区地域福祉活動計画第Ⅴ期プラン」(案)

スローガン 「こころのひとりぼっちをなくそう」※スローガンとは、団体の理念を簡潔に言い表した覚えやすい句・標語・モットー

基本理念	重点課題	活動目標
<p>人と人とのつながりを広げ、誰もが安心して共生できる地域福祉を推進します</p>	<p>1. とともに助け合い、支え合える地域づくり 制度や事業だけでは対応できない多様な地域福祉課題が生じています。身近な地域での助け合い・支え合いによって、コミュニティの力を強め、安心して暮らしやすい地域づくりにつなげる必要があります。</p>	<p>(1) 多様性を尊重し合い、それぞれが地域との関わりを持てるよう、人と人がつながることのできる居場所づくりや社会参加の取組を進めていきます。 (2) 地域コミュニティが希薄化し、地域福祉課題が複雑多様化するなかで、地域の中で住民が孤立しないよう、誰一人取り残さず、同じ地域に住む一員として、共に暮らすことができる地域づくりを進めていきます。</p>
	<p>2. 地域福祉活動を支える基盤づくり 地域の福祉課題は複雑多様化しているため、住民同士の助け合い、支え合い活動に包括的に寄り添いながら課題を解決していく支援体制を充実させる必要があります。</p>	<p>(1) 地域の次代を担う人材の育成・発掘を、多様な機関・団体等を巻き込みながら進めていきます。 (2) 地域の複雑多様化した地域福祉課題に対応するため、多様な機関・団体と地域とが連携・協働した包括的な支援体制の充実を進めていきます。</p>
	<p>3. 山間地支援 山間地域の猶予のない少子高齢化や社会の変化に伴う公共サービスの減少によって、安心して健やかに暮らすことがより困難になってきています。地域住民が諦めてしまうことのないよう、ニーズに寄り添いながら、多様な機関・団体とともに地域福祉課題に対してできる取組を探し進めていく必要があります。</p>	<p>(1) 山間地域の地域福祉課題を把握・発信し、地域住民のニーズに寄り添った生活支援・地域福祉活動の創出と、山間地域に様々な形で継続的に関わっていただけるような関係人口の創出を進めていきます。 (2) 多様な機関・団体と地域住民とが一緒になって、山間地のこれからの地域福祉について考え、実行することができる仕組みづくりを進めていきます。</p>
	<p>4. 福祉の理解と情報発信 福祉に関する情報発信や幅の広い福祉教育により、地域住民への福祉の理解を深め、住民同士の助け合い、支え合い活動を進めるために必要な新たな担い手の育成にもつなげる必要があります。</p>	<p>(1) 福祉に関する情報提供の内容や手段を工夫しながら、必要としている情報を誰もが入手できる環境づくりを進めていきます。 (2) 地域と多様な機関・団体などが一緒になって、対象を幅広く捉えた福祉教育(啓発)を実践し、福祉に関する理解者の充実や、新たな担い手の育成を進めていきます。</p>
	<p>5. 災害時に備えた地域づくりの推進 災害発生時には、公的な援助にも限界があるため、地域の支え合いや助け合いが重要になります。災害にも強い地域づくりを進めていくため、平常時から多様な機関・団体と地域とが連携・協働した体制を構築する必要があります。</p>	<p>(1) 災害時にも強い地域となるよう、地域住民の関係性を強めるつながりづくりと、多様な機関・団体とが連携・協働できる体制づくりを進めていきます。 (2) 災害ボランティアセンターとして発災時に迅速かつ円滑な運営となるよう、平常時から多様な機関・団体と地域とが連携・協働できる体制づくりを進めていきます。</p>

